

令和2年9月15日
一般社団法人 沖縄県トライアスロン連合

感染症対策として、基本的に接触感染、飛沫感染への回避が重要となります。その趣旨を踏まえながら熱中症対策も必要となります。そのため、以下の指針を定めますが、接触、飛沫を浴びないようにする工夫も必要ですので、皆様で飛沫を浴びない、浴びせない等気を付けて行動をお願い致します。
※日本スポーツ協会、JTU、沖縄県スポーツ協会、沖縄県水泳連盟様のガイドライン等を参考に作成しております。

1. 認定記録会 再開における対策
 - ア) 無観客とする（小中学生については保護者、クラブコーチは入場可、健康調査票の提出必須）
 - イ) 感染リスクを低減するために対策を実施する。
 - ・会場入館時には、検温・石鹸や消毒液による手指消毒の実施。
 - ・健康調査表の提出
 - ・選手、役員等に関する対策の策定
2. 選手、役員、保護者の皆様へ（会場にはいる全員当てはまります。）
 - ア) 下記に該当する項目があれば、認定記録会に参加できません。（健康調査票にて確認します）
 - ◎咳、のどの痛み、風邪の症状
 - ◎37.5度以上の発熱のある方
 - ◎嗅覚・味覚に障害を感じる方
 - ◎過去2週間以内に発熱や風邪症状や感染が疑われる方と接触があった方など
 - イ) 大会会場での心得
 - ◎待機場所・招集所等ではマスク着用で静かにする
 - ◎同居家族以外で、3人以上集まらないようにする
 - ◎会話するときも距離をとって話すようにする
 - ◎大声を出さない。応援の自粛
 - ◎マスクを着用する（運動時には、マスク着用なし、人に近づかないを原則とします）
 - ・会場入館時は全員マスクを着用する。
 - ・選手はプール、競技場内、アリーナ以外の待機場所では『マスク着用』を原則とする。
 - ・競技役員、保護者、クラブコーチなどは、常時『マスクを着用』
 - ◎こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
 - ◎スポーツ中に、唾や痰をはくことは極力行わないこと。
 - ◎タオル・ドリンク等の共用はしないこと。
3. 役員、保護者、クラブコーチの皆様へ
 - ア) 健康調査票の提出を必須とします。

記録会2日前から検温を行ってください。37.5度以上の発熱があった場合は、入場できません。
 - イ) 大会当日、会場入り口にて検温してください。入館の際マスク着用をお願いします。
 - ウ) 体調不良の方は参加を自粛してください
4. 参加団体・各クラブチームの皆様へ

上記注意事項のほか、競技会場では『3つの密』を避けるよう指導をお願い致します。

 - ◎密閉空間～換気の悪い場所に行かない。
 - ◎密集場所～他人と手の届く距離に集まらない。
 - ◎密接場面～間近での会話や大声を出さない。
5. そのほか注意事項
 - ・大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は事務局へ報告願います。
 - ・沖縄県内の感染状況、役員体制などにより、記録会を中止する場合があります。